

## 遺伝子組み換え技術と農業・食料

久野秀二（北海道大学）

### 1. 遺伝子組み換え技術とは何か

基本的なメカニズム  
技術開発の経緯

### 2. 遺伝子組み換え技術は何をめざしているのか

病虫害や環境ストレスに抵抗性をもつ新品種の作出 食糧増産への寄与  
化学資材への依存を減らす新品種の作出 環境保全型農業の実現への寄与  
高品質・高機能の食品の作出 消費者メリット  
投下労働や投入財にかかる経費を削減する 生産者メリット  
その他の産業分野への応用（医薬、新素材、環境修復）

### 3. 遺伝子組み換え技術はどこまで到達しているのか

これまでの応用事例・・・開発主体は誰か？  
遺伝子組み換え作物の作付状況  
その他研究開発の進行状況  
国内市場への参入状況

### 4. 遺伝子組み換え技術の懸念材料

健康への影響  
生態系への影響  
「回転ドア」の存在・・・どこまでチェックできたのか、できるのか？  
農業生産への影響・・・アメリカ、日本、途上国  
ターミネーター技術の波紋

### 5. 遺伝子組み換え食品の表示問題

基本的考え方・・・消費者の知る権利、選択する権利、安全な食品を要求する権利  
海外での議論・・・EUとアメリカとの対比  
国内での議論・・・衆議院特別委員会小委員会と農水省食品表示問題懇談会

### 6. 私たちはどのように対処すべきか

国際的規制の動きと諸問題  
国内外のNGOの取り組み

### 参考資料

藤原邦達『遺伝子組換え食品の検証』、新評論、1997年  
日本弁護士連合会「遺伝子組換え食品の法的規制を求める意見書」、1998年3月  
玉利秀也「多国籍企業の遺伝子組み換え食品開発」『前衛』、1998年4月